

心に安らかな居場所を 癒やしの音楽

コロナ後の世界のために

日時 2020年12月4日(金) 19時 (18時30分開場)

会場 東京カテドラル聖マリア大聖堂
東京都文京区関口 3-16-15

*コロナ感染症予防のため 150名様限定

【チケット】一般 ¥3,000 / 当日 ¥3,500 学生 ¥2,000 / 当日 ¥2,500 (学生証提示)

【ご予約】TIGET ネット予約 ▶ メールまたはFaxから予約

ネット
予約 ▶



〈氏名・連絡先(メール)・枚数を明記〉

MAILE: noan@vctokyo.jp FAX: 050-8883-9028

【お問い合わせ】アートフォーラム NOAN 事務局 TEL: 090-3982-4055

AFTER COVID-19

Consolation



合唱 ヴォーカル・コンソート東京

“Only in Sleep” (エシェンヴァルズ)

“If ye love me” (タリス) “Sing Gently” (ウイッテカー)

チェロ 高橋 弘治

無伴奏チェロによるリチェルカーレ 第7番 (ガブリエッリ)

チェロ・ソナタ イ長調 (ガブリエッリ)

ヴァイオリン 保坂 喬子

12のヴァイオリン・ソナタ集 Op2より 第11番 (ヴィヴァルディ)

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 (シュメルツァー)

オルガン 千田 寧子

12の性格的小品 op.156より「夕べの平安」(ラインベルガー)

トリオ・ソナタ 第2番 BWV526 (J.S. バッハ)

テオルボ 瀧井 レオナルド

指揮: 四野見和敏

主催 一般社団法人アートフォーラム NOAN



コロナ後の社会に向けた取り組み

コロナ感染症の恐怖や不安と、先の予測ができない困難さは、多くの人に心的ストレスをもたらしています。距離を取りながらの生活様式は、他の人との心理的交流を阻害し、孤立感や孤独感を生んでいます。このような状況下で社会は、ますます「癒し」への関心が高まると予想されます。音楽の持つヒーリング(癒し)効果で、ストレスや不安の軽減、心身のリラックスやリフレッシュのために、コンサートを開催します。

音楽芸術の社会的使命＝心の居場所をつくる

アーティストは今、自粛が続く音楽文化の厳しい状況を受け入れつつ、コロナ後の社会を見据えて、新しい芸術のあり方を発信する使命があります。急激な社会環境の変化で、心理的・精神的なストレスを受けた人々のために、音楽で人間の深い傷を癒し、魂の救済を目指します。音楽は、人間が生きていく上で必要な「心の居場所」であり、ありのままの自分を受け入れてくれる唯一の芸術です。

プログラミングの工夫

ストーリー性がある構成にしました。孤独や不安を抱えた人間が、さまざまな音楽に出会い癒され、最後には至福の喜びに昇華されていきます。「孤独な人間」の内面をチェロの音楽で描き、合唱団はクロスとして、主人公の心や魂に寄り添います。公演では瞑想的なバロックの曲を古楽器の名手が演奏し、澄んだハーモニーを持つヴォーカル・コンソート東京が、魂の浄化を歌います。

出演者

指揮 / 四野見 和敏

合唱 / ヴォーカル・コンソート東京

ヴァイオリン / 保坂 喬子 チェロ / 高橋 弘治 オルガン / 千田 寧子

テオルボ / 瀧井 レオナルド

Vocal Consort Tokyo

ヴォーカル・コンソート東京

指揮者の四野見 和敏が 2014 年に設立したプロフェッショナルな合唱団。オーディションで選ばれた若手声楽家で編成されている。バロックからロマン派、そして近現代のアカペラの合唱曲をレパートリーに持つ。様々な時代に対応するために、その時代が求める時代様式や歌唱法の統一に重点を置いている。この合唱団の響きは Homogenität (同質性・均質性) があり、澄んだ柔らかな音色を持っている。音楽批評誌「メルキユール・デザール」では「純度の高い演奏。クリアかつ豊饒な響きに圧倒される」と評価されている。

Sop. 池田 真紀 石井 実香 高山 ゆみこ 長尾 良子 森川 郁子 渡辺 藍子

Alt. 小松 奈津子 佐藤 智子 新明 裕子 横町 あゆみ

Ten. 荒木 俊雅 曾部 遼平 堀越 尊雅 町村 彰

Bass 阿部 大輔 大槻 聡之介 落合 一成 關 秀俊

新型コロナウイルス感染防止へのご協力をお願い

- ・マスク常時着用、咳エチケットの実践、入場時の手指消毒、検温へのご協力をお願いします。
- ・検温で 37.5℃以上が検知された場合は、入場をご遠慮いただきます。
- ・出演者へのプレゼント、面会はお控えください。
- ・開演前後、休憩時間の際は、極力会話を避けるようお願いいたします。